

2026年6月1日
国立精神・神経医療研究センター（NCNP）

国立精神・神経医療研究センター病院 「睡眠診療部」を開設 ～すべての国民に Good Sleep を届けるために～

日本人の約5人に1人は睡眠に関する悩みを抱えているといわれています。睡眠の問題は、昼間の生活に支障をきたすだけでなく、うつ病や生活習慣病などとも密接に関係しています。不眠症以外にもさまざまな睡眠・覚醒の病気があり、それぞれで原因や治療法が異なります。

こうした睡眠・覚醒障害の患者さんに最も適した診療を提供するため、国立精神・神経医療研究センター病院（東京都小平市、病院長：戸田達史）では、「睡眠診療部」を開設します。

当院では、世界有数の睡眠の研究機関である精神保健研究所睡眠・覚醒障害研究部の成果を最新の医療につなげ、認知行動療法（CBT）センターなどとの連携を図り、オール NCNP で協力して診療に当たります。睡眠・覚醒障害の原因究明、新たな診断法・治療法の開発などの研究を推進し、睡眠医療のさらなる進歩に貢献していくことを目指しています。

「睡眠診療部」の特色

- 内科・精神科・小児科・歯科等の専門医師による睡眠障害への総合診療を提供
- 適切な安全精度管理下における充実した各種睡眠検査を提供
- 学術研究部門（研究所）と連携した最先端の睡眠医療を提供
- 新薬・医療機器治験の実施拠点

NCNP は発足以降、睡眠医療の発展に尽力してまいりました。このたび、患者さんにより分かりやすく、安心して受診していただくために、新しく睡眠診療部を開設しました。今後とも積み重ねられた経験に基づく、質の高い睡眠医療をより多くの国民の皆様提供してまいります。

NCNP における睡眠診療の沿革



睡眠診療の源流は、1986年の旧国立精神・神経センター発足と、精神保健研究所精神生理部の成立にさかのぼります。



1986年
 国立精神・神経センター発足
 精神保健研究所・精神生理部が設立
 睡眠研究の開始
 (大川匡子部長)

1980年代後半～1990年代
 NCNP 内で睡眠・生体リズム研究と臨床応用が展開
 ・武蔵病院
 梶村尚史医師が睡眠診療・臨床研究を担当
 ・国府台病院
 亀井雄一医師が睡眠診療・臨床研究を担当

2000年代
 高橋清久(名誉総長)らにより日本学術会議へ「睡眠学の創設」を提言
 精神生理部
 大川匡子部長
 →内山真部長

その後…
 NCNP 病院専門疾病センターとして睡眠障害センターを整備。
 センター長
 亀井雄一医師
 精神生理部
 内山真部長→三島和夫部長
 【名称変更】精神生理部→睡眠・覚醒障害研究部

2019年4月～
 睡眠障害センター長
 亀井雄一医師
 →栗山健一医師
 →松井健太郎医師(現任)
 睡眠・覚醒障害部
 三島和夫部長
 →栗山健一部長(現任)

【お問い合わせ先】

●取材等のお問い合わせについて

国立精神・神経医療研究センター 総務課広報室

【Email】 kouhou@ncnp.go.jp

【URL】 <https://hsp.ncnp.go.jp/>